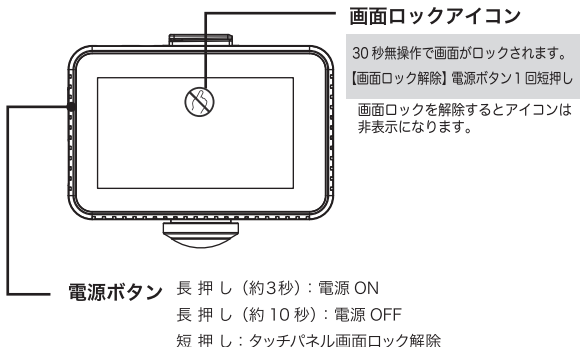


360°録画 + リアカメラ ドライブレコーダー

※本製品のタッチパネルの操作方法について

画面ロックを解除してからタッチパネルを操作してください。

【画面ロック解除】電源ボタンを1回、短く押す



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
駐車録画・GPS に関するご注意	6
microSD カードご使用に關しての注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
電源を ON にする / 画面表示の切替 (4 種類)	13
設定画面 (設定一覧)	14
【設定画面1】録音 / 音量 / 再生画面	15
【設定画面2】駐車録画 / G センサー / フォーマット	16
【設定画面3】画面消灯 / 明るさ / リア表示 / システム情報 (初期化)	17
ドライブレコーダーを使う	18
録画の種類	19
microSD カード内ファイル構成	20
製品仕様	21
録画時間の目安	21

【付録】専用ビューアー説明書

専用ビューアーソフトは弊社ホームページよりダウンロードを行うことができます。

<https://www.watex-net.com/>

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まったりした場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、
使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。
また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると
道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大
変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や
改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中
止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製
品は防水仕様ではありません。水がかかれますと故障や火災・感電の
原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の
原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常
に動作しないことがあります。

**注意**

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えすと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がON状態または、録画中に microSD カードを取り出すと記録データと microSD カードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

【駐車録画に関するご注意】

駐車録画は車両の常時電源を使用する為、車両バッテリーへの負荷が掛かります。車両のバッテリー上がり防止のため、カーバッテリーの電圧が12V 車は、電圧が12V 以下 / 24V 車は、電圧が24V 以下になると録画を終了します。

また、以下に示す3項目に該当するお客様は車両のバッテリー上がりの原因となりますので、駐車録画の使用をお控え頂きますよう、お願い申し上げます。

- 毎日運転しない方
- 1日の走行が1時間以下の方
- 車両バッテリーを1年以上使用している方

上記は参考基準であり、お客様のお車及びバッテリー容量等によってはこの限りではございません。

お車によってエンジンスタートに必要な電圧が異なりますので、車両メーカー等にご確認頂きご理解の上、駐車録画の機能をご使用ください。

※注意事項

定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。

【GPSに関するご注意】

■GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。

■気象条件、車両の位置などによりGPS受信までに数分かかることがあります。

※トンネル、地下駐車場、建物の中、鉄道や道路の高架下、高い建造物や木などに囲まれた場所などで受信ができないことがあります。

■GPSは初期作動時、起動するまでに時間がかかります。

■位置情報は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な位置の測位をおこなうことができません。

■録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。

もしも事故が起きたら・・・

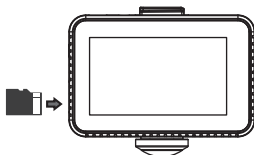
- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを（電源を）OFF にして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。
その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止してから行ってください。
microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。
- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。

挿入時 microSD カード挿入口に
『カチッ』と音がするまで押し込む

取り出し microSD カードを軽く押し込み、
少し飛び出してから引き抜く



※ microSD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

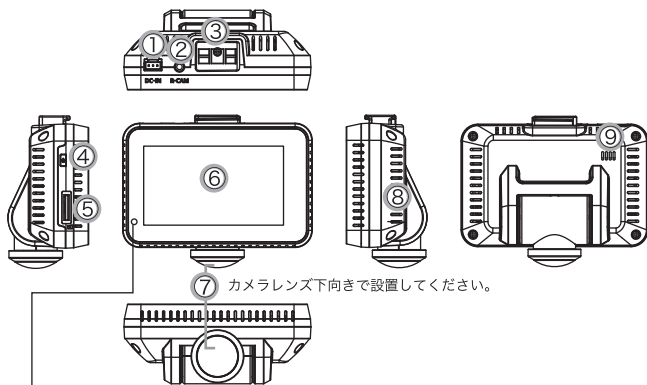
※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。

microSD カードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

- 安定してご使用いただくため、定期的にドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード（推奨品）への交換をお勧めします。1 日 2 時間程度の使用で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により寿命は短くなります。
- 本機で使用した microSD カードをスマートフォン、タブレット端末に挿入しないでください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。

本体カメラ

- ①電源接続端子 (DC-IN) 電源ケーブルを接続
- ②リアカメラ接続端子 (R-CAM) リアカメラを接続
- ③ブラケット差込口 ブラケットを装着
- ④電源ボタン [長押し] 製品の電源 ON3 秒 / OFF10 秒
[短押し] タッチパネル画面ロック解除
- ⑤ microSD カードスロット microSD カード挿入口
- ⑥ タッチパネル 液晶録画映像や設定を表示
- ⑦ カメラ 本体のカメラ部
- ⑧ マイク 録音用 (ON/OFF 可能)
- ⑨ スピーカー 音声案内



カメラレンズ下向きで設置してください。

LED ランプ

青点滅・・・常時録画中 / フォーマット中 / アップデート中

赤点滅・・・イベント録画中 / 駐車録画中 / SD 未挿入時 / SD エラー時

消灯・・・電源 OFF 時

ピンク・・・起動 / 再起動

セット内容

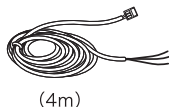
- 本体カメラ (GPS内蔵)



- 取付ブラケット



- 電源 (配線) ケーブル



- リアカメラ + 接続ケーブル



- microSD カード (32GB)
& カードアダプター



※microSD カードは出荷時に本体カメラに
セットされています。

- 保証書



- 取扱説明書



・microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
定期的に交換することをお勧めします。寿命となった microSD カードは「SD カードエラー」表示
または、「SD カードをフォーマットしてください」と繰り返し表示されるなど正常に動作できなくな
ります。

※ 専用ビューアソフトは弊社ホームページよりダウンロードを行うことができます。
<https://www.watex-net.com/>

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部 20% 以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属の micro S D カードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。

[設置・電源ケーブル配線時のご注意]

車内に TV フィルムアンテナがある場合、本体または各ケーブルを離して設置してください。

本体カメラ設置

TV フィルムアンテナから本体を出来る限り離して設置してください。

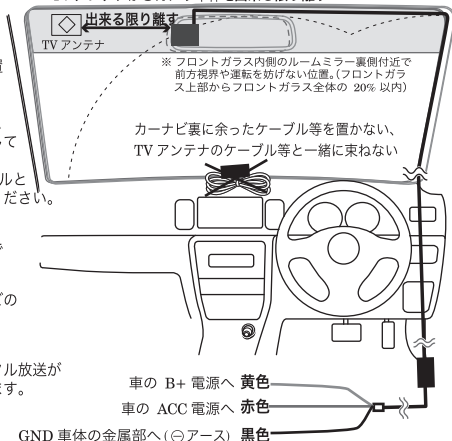
電源ケーブルは TV フィルムアンテナから出来るだけ離して配線してください。
TV フィルムアンテナケーブルと逆方向に引き回し配線してください。

また、TV フィルムアンテナケーブルと一緒に束ねないでください。

電源の配線は内部でカーナビの近くに余ったケーブル類を束ねないでください。

※弱電界地域では地上デジタル放送が映らなくなる場合があります。

TV アンテナからカメラ本体を出来る限り離す



リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にレンズを車外（後方）に向けて設置してください。

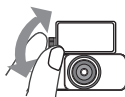
TV アンテナが後方にある場合リアカメラ接続ケーブルを出来るだけ離す



※脱脂クリーナーなどでリヤガラスを清掃し、よく乾かした後に貼付けてください。

両面テープがカメラ側に来るようにブラケットを回してレンズが車外に向くようにガラス面に貼りつけます。

ブラケットの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整し調整後にネジを締めてください。



リアカメラの上下の角度は本体ドライブレコーダーの液晶画面で後方車のナンバーが確認できるように調整してください。

リアカメラが映らない時は
リアカメラ接続ケーブルをしっかりと本体へ差し込んでください。

⚠ 注意 電源ケーブル (配線タイプ) の取り付けは、専門の知識が必要になります。取り付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

取り付け (取り外し) や配線は、専門技術者に依頼する

必ず、付属品や指定の部品を使用する

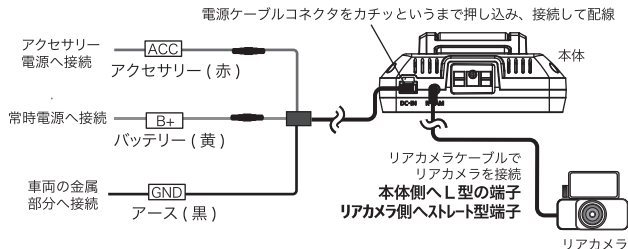
! 誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

! 機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

【電源ケーブルの配線のしかた】

⚠ 注意 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

カメラと電源ケーブルを接続します。



【仮留め・テスト録画】

しっかり貼り付ける前に、いったん仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。



【取り付け方法】 ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。

- 1 取付ブラケットをはめ込み「カチッ」という音がするまでスライド挿入する
- 2 両面テープのハクリ紙をはがしてブラケットをガラス面に貼りつける
- 3 ブラケットの角度を調整してネジで固定する
- 4 レンズの角度を調整し電源、リアカメラのケーブルを配線し micro SD カードを挿入する

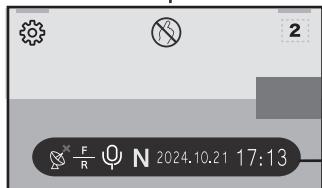
※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。

【車のエンジンをかけて電源を ON にする】

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源が ON になります。
電源が入ると自動的に録画がスタートし、液晶に録画中の Live 画面が表示されます。

【Live 画面表示】

画面ロックアイコン (画面ロック解除で非表示)



30 秒無操作で画面がロックされます。

【画面ロック解除】電源ボタン 1 回短押し

設定アイコン

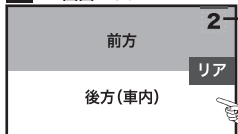
2 画面表示アイコン

メニューバー

【画面表示の切替】(2 画面+リア⇒前方⇒リア+前方⇒4 画面) を切り替えられます。

2 2 画面+リア

押すたびに切り替わります。



2

F

R

4

2画面+リア⇒前方⇒リア+前方⇒4画面

画面をタッチしてメニューバーが消えた後

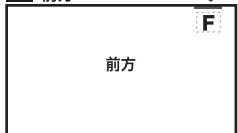
- ・2画面と4画面は、ダブルタッチすると1画面拡大可能

※フロントカメラ撮影の画面について
(メニューバーが消えている状態で)

- ・4画面と[F]前方画面はスライドして表示角度調整可能

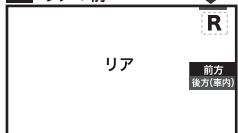
[R]リア画面について (メニューバーが消えている状態で)
小窓(前/後)をタッチすると[2][2画面+リア]に切替わる

F 前方



F

R リア+前



R

4 4 画面



4

GPS 受信状態: [GPS受信アイコン] 受信中 [GPS未受信アイコン] 未受信

メニューバーの表示について

GPS 受信状態: [GPS受信アイコン] 受信中 [GPS未受信アイコン] 未受信

リアカメラ接続状態: [F/R接続アイコン] 接続 [F/R未接続アイコン] 未接続

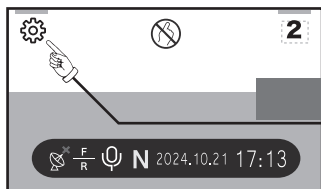
録音 ON/OFF 状態: [録音ONアイコン] ON [録音OFFアイコン] OFF

録画状態: [N] 常時録画 [E] イベント録画(衝撃時)

日時表示: 2024.10.21 17:13 (例)

【⚙️ Live 画面の設定アイコンをタッチ】

画面ロック解除後、設定アイコン⚙️をタッチし設定画面に入ります。



画面ロックを解除（電源ボタン）

30 秒無操作で画面がロックされます。

【画面ロック解除】電源ボタン 1 回短押し

設定アイコンをタッチ

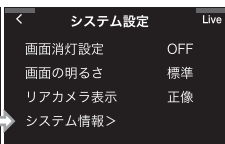
【設定画面1】



【設定画面2】



【設定画面3】



設定画面の詳細は次ページ～

【設定メニュー】メニュー画面の各種設定一覧

設定画面1	設定画面 2	設定画面 3	設定値	初期値
① 録音	—	—	ON / OFF	ON
② 音量	—	—	1 ◁ / 2 ▷ / 3 ≡ / 消音 ×	2
③ 再生	—	—	再生リスト表示 / 再生画面	—
設定 	④ 駐車録画	駐車録画	OFF / ON（最大 3 時間）	OFF
	⑤ G センサー	感度	OFF/ 鈍感 / 標準 / 敏感	標準
	⑥ フォーマット	SDフォーマット	タッチで SDフォーマット	—
	システム 	⑦ 画面消灯設定	OFF/ 1 分後消灯 / 1 分後時計	OFF
		⑧ 画面の明るさ	暗い / 標準 / 明るい	標準
		⑨ リアカメラ表示	正像 / 鏡像	正像
		⑩ システム情報	バージョン表示 / 初期化（※タッチで初期化）	

②音量は、音声案内、警告音、再生の音声などすべて共通です。

③再生リストは、次ページを参照

⑥使用中の microSD カードをフォーマットします。

⑦画面消灯設定 OFF は、電源 ON 時、Live 画面を消灯せずに表示します。

⑨鏡像設定は、バックミラーで後方を確認したような映像を表示

※リアカメラを鏡像に設定しても録画映像は正像に記録されます。

⑩ファームウェアのバージョンが確認できます。

※画面下の初期化をタッチするとシステムを初期化します。

LIVE 画面の設定アイコンをタッチすると設定画面1が表示されます。

【設定画面1】



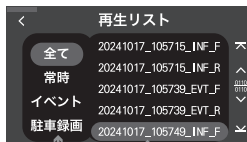
- ①録音：タッチするたびに ON/OFF が切り替わります。
- ②音量：1 / 2 / 3 / 消音と調整できます。
※音量は、音声案内、警告音、再生の音声などすべて共通です。
- ③再生：タッチで再生画面が表示されます。
- ④設定：タッチで【設定画面2】に入ります。



くをタッチ、外枠タッチ、または無操作でLive 画面に戻ります。

③再生画面

【再生ファイル選択画面】



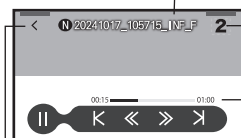
- ← 1 番最初のファイルへ
- ← (-) 5 個前のファイル
- ← (+) 5 個後のファイル
- ← 1 番最後のファイルへ

録画種類選択 ファイル名をタッチすると再生します。

選択している項目は青色表示

【再生画面】

再生しているファイル名①常時録画②イベント録画③駐車録画



フロントカメラの表示方法（タッチするたびに切り替わります）
2 (2 画面) ⇒ 4 (4 画面) ⇒ F (フロントワイド画面)

4 (4 画面) 時、各画面ダブルタッチで 1 画面に拡大可能

4 (4 画面) 時と F (フロントワイド画面) 時、
画面をスライドして表示角度調整可能

タッチすると前画面に戻る

再生ファイルの時間



リアカメラ映像の表示（切り替えはできません）

再生バーの機能一覧



- ① 再生ファイルの一時停止
- ② 前のファイルを再生
- ③ 10 秒巻き戻し
- ④ 10 秒コマ送り
- ⑤ 後のファイルを再生

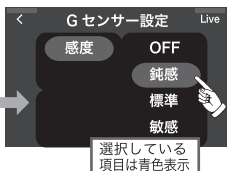
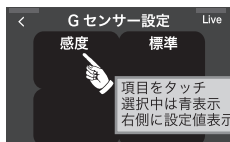
設定画面 1 の設定アイコンをタッチすると設定画面 2 が表示されます。

【設定画面2】



- ① 駐車録画 ON/OFF
- ② G センサーの設定
- ③ フォーマット
- ④ システム (タッチで【設定画面3】に入ります)

① 駐車録画、② Gセンサーは、下記のように設定値をタッチして選択します。



① [駐車録画設定]

OFF (初期値) のままでは、駐車録画をしません。
ON (最大 3 時間) にすると既定の電圧以下になるまで、最大 3 時間録画をします。



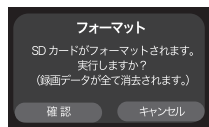
② [G センサー設定]

OFF / 鈍感 / 標準 / 敏感より衝撃の検知感度を選択できます。
OFF を選択すると衝撃があってもイベント録画しません。



③ フォーマットをタッチすると microSD カードをフォーマットします。

※フォーマットする前に必要な映像を PC に保存することをお勧めします。
microSD カードのフォーマット終了後、録画を開始します。



SD カードがフォーマットされます。
実行しますか?
(録画データが全て消去されます。)

と確認画面が表示されますので「確認」をタッチしてください。
※フォーマットしない場合は「キャンセル」をタッチしてください。

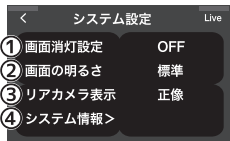
※ SDカードは消耗品です。寿命を少しでも延ばすために、定期的なフォーマットすることをお勧めします。



④ システムをタッチすると、[設定画面 3] が表示されます。

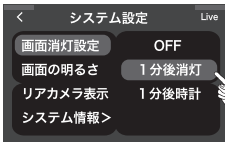
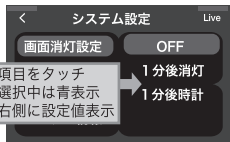
設定画面 2 のシステムアイコンをタッチすると設定画面 3 が表示されます。

【設定画面3】



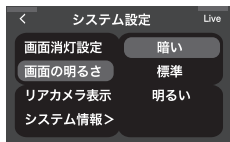
- ①画面消灯設定
- ②画面の明るさ
- ③リアカメラ表示の設定
- ④システム情報の表示と初期化ができます。

①画面消灯設定



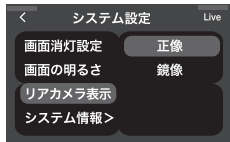
OFF: 液晶に LIVE 画面表示
1 分後消灯: 液晶消灯
1 分後時計: 液晶に時計表示

②画面の明るさ



画面の明るさ設定は、
液晶画面の明るさを調整できます。

③リアカメラ表示の設定



リアカメラの鏡像設定は、
バックミラーで後方を確認したような映像を表示します。
※リアカメラを鏡像に設定しても録画映像は正像に記録されます。

④システム情報の表示と初期化

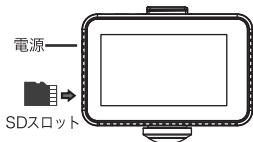


F/W Version でファームウェアのバージョンが確認できます。
[初期化] をタッチするとシステムを初期設定に戻します。

システムを初期化します。
実行しますか？

と確認画面が表示されますので「確認」をタッチしてください。
※初期化しない場合は「キャンセル」をタッチしてください。

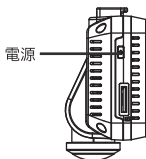
1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



! microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源が ON になります)



エンジンをかけた状態で電源ボタンを 10 秒以上長押しすると電源が切れます。再び、電源ボタンを 3 秒以上長押しすると電源が入ります。電源を OFF にすると録画できません。

液晶画面をタッチするとメニューが表示されます。



画面ロック表示

30 秒無操作で画面がロックされます。

[画面ロック解除] 電源ボタン 1 回短押し

3) 常時録画を開始

①常時録画

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と録画を開始します。
常時録画のデータは INF フォルダに保存されます。

②衝撃検知による録画 (衝撃録画)

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、前後 10 秒の記録を衝撃録画として Event フォルダに保存します。

③録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。
電源 ON 時に電源スイッチを OFF にしても録画を停止します。
再び電源スイッチを ON にすると電源が入って録画を再開します。

4) 駐車録画 [OFF または、ON(3 時間) の設定あり]

- ・ OFF: エンジンを切ったら録画を終了します。(駐車録画はしません)
- ・ ON(3時間): エンジンを切ってから最長3 時間、駐車録画 (タイムラプス録画) をします。
(バッテリー保護のため電圧が 12/24V 以下になると録画を停止します)

【注意事項】

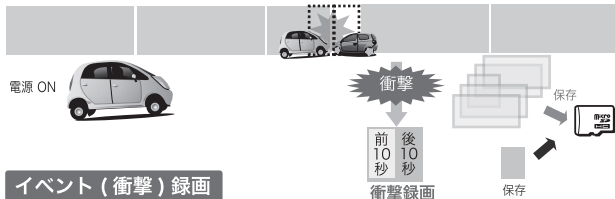
- ・録画中は microSD カードを取り外さないでください。
- ・駐車録画中は画面操作できません。
- ・microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃録画、駐車録画、それぞれのファイルの古いデータから上書きして新しいデータを記録します。

電源 ON で常時録画＋衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源 ON から OFF まで常に録画を続けます。microSD カードの容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

※常時録画の 1 ファイル 1 分 (途中で衝撃があった場合は衝撃時までしか保存されません)



イベント (衝撃) 録画

衝撃時 (G センサーが衝撃を検知したとき) 録画したときは、1 ファイル 約 20 秒 (前 10 秒、後 10 秒) のファイルが Event フォルダに保存されます。

電源 OFF で常時録画＋衝撃録画を終了します。

駐車録画 (タイムラプス録画)

○タイムラプス録画のフレーム数は 15fps (※) です。
5 分を 20 秒のファイルに圧縮して連続保存します。

駐車録画の設定について [設定画面2/ 駐車録画]

OFF または、ON(3時間) の設定ができます。【初期設定 OFF】

ON(3 時間) を選択すると最大 3 時間、車両のエンジン停止後タイムラプス録画を開始します。エンジン停止後、「駐車録画を開始します」とアナウンスされ画面が消灯します。

※駐車録画中は画面操作できません。

駐車モードは、カーバッテリーの電圧が下記になると録画を終了します。

※12V 車は、電圧が 12V 以下 / ※24V 車は、電圧が 24V 以下

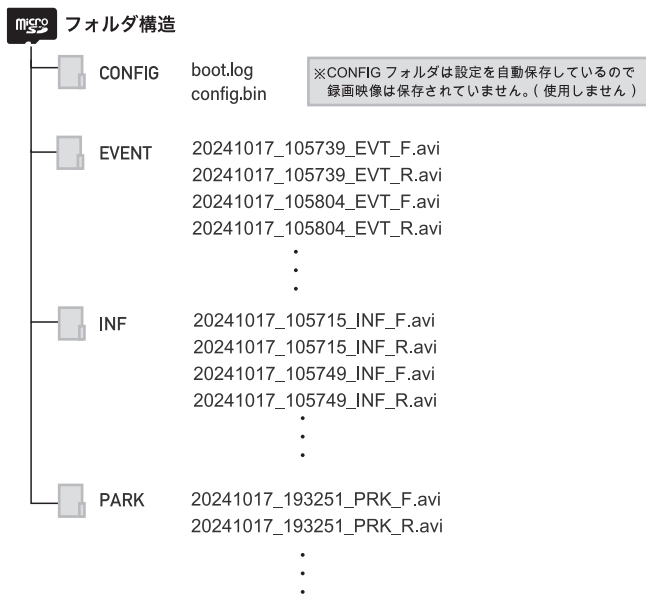
[注意事項] 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

駐車録画の映像は、microSD カードの PARK フォルダに保存されます。

microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画、駐車録画、それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。

※fps(フレームレート)とは、1 秒間の動画が何枚の画像で構成されているかを示す単位のこと。

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルが保存されます。



【ファイル名について】

ファイル名は録画した年月日と時間で自動的に付けられます。

YYYYMMDD_hhmmss_ 録画種類 _カメラ種類 .avi

録画種類

INF 常時録画
EVT イベント (衝撃) 録画
PRK 駐車録画

カメラ種類

F はフロントカメラ撮影 / R はリアカメラ撮影

(例 1) 20241017_105739_EVT_F.avi

2024 年 10 月 17 日 10 時 57 分 39 秒に (F) フロントカメラで録画したイベント録画ファイル

カメラ種類	フロントカメラ	リアカメラ
外形寸法	約 89(W)×68(H)×38(D) mm	約 54(W)×22(H)×27(D) mm
重量	約 160g	約 30 g
画素数	368 万画素 SONY 製 IMX335 CMOS センサー	200 万画素 SONY 製 IMX307 CMOS センサー
F 値	2.0	2.0
レンズ画角	水平 240°, 垂直 240°	水平 114°, 垂直 59°, 対角 136°
フレームレート	29.1fps	29.1fps
記録解像度	368 万画素 1920×1920	200 万画素 1920×1080

記録方式	常時録画、イベント録画、駐車録画		
録画ファイル構成	常時録画 1 分、イベント録画 20 秒 (前 10/ 後 10 秒)、駐車録画 (タイムラプス)		
記録映像再生方法	専用ビューアー、本体、Windows Media Player など (Windows10/11)		
記録データ	日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル		
対応 SD カード	microSD カード 8GB ~ 128GB 対応 Class 10 以上 (32GB 付属)		
駐車録画時間	最大 3 時間 (電圧監視機能付 12/24V 以下で駐車録画自動停止)		
HDR	あり (前後固定)	消費電流約	500mA ~ 1A
バッテリー	スーパーキャパシタ	動作温度	本体: -10 ~ 70°C
GPS	あり (本体内部蔵)	保存温度	本体: -20 ~ 80°C
G センサー	ON (3 段階) /OFF	スピーカー出力	ON (3 段階) /OFF
音声録音	ON/OFF	駐車監視モード	ON/OFF
映像ファイル形式	avi	SD カード管理	フォーマットフリー
電源電圧	DC12V/DC24V	ナイトビジョン	あり (前後固定)
付属品	ブラケット、電源ケーブル (配線タイプ 4m)、リアカメラ (接続ケーブル 9m)、microSD カード (32GB)、SD 変換アダプター、保証書、取扱説明書、※専用ビューアソフトは弊社 HP よりダウンロードしてご使用ください。		

・ 本表の記載は、一般社団法人ドライブレコーダー協議会の表示ガイドラインに基づいています。

録画時間の目安

※撮影の状況などによって変動する場合があります。

※常時 60% 衝撃 20% 駐車 20%

2 カメラ時

microSD	32GB	64GB	128GB
録画時間	約 190 分	約 380 分	約 760 分

※ファイルサイズが固定のため 1 カメラでも録画時間は同じです。

専用ビューアー説明書

※ 専用ビューアーソフトは弊社ホームページよりダウンロードを行うことができます。
<https://www.watex-net.com/>

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。
・ハードディスクに、使用する専用ビューアーソフトの容量を超える空きがあること

■ 専用ビューアーソフトのシステム要件

以下のシステム要件を満たしていないパソコンでは使用できません。

- ・プロセッサ：Intel Core i5、3.0GHz以上
- ・メモリー：8GB 以上
- ・オペレーティングシステム：Windows 10/11（64ビット推奨）

※ このシステム要件に記されている以外のオペレーティングシステムを実行しているパソコンでは、専用ビューアーが正しく機能しません。

※ 条件を満たしたすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

- ・エラーメッセージが出た場合は、アンインストールしてから、アンチウイルスソフトを停止し、再度インストールして、いったん起動してください。その後、アンチウイルスソフトを再開してください。

目次

準備しましょう

ビューアーのインストール方法 2

使ってみましょう

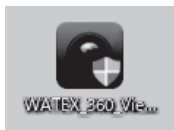
ビューアーを起動して SD を読み込む 4

ビューアー画面の見方 5

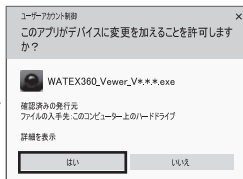
ファイルの再生操作 6

1 ホームページの製品ページから専用ビューアーソフトをダウンロードする
<https://www.watex-net.com/>

2 ダウンロードしたソフトを解凍し、インストールプログラムをダブルクリックする
インストールプログラム「WATEX_360_Viewer_V*.*.exe」

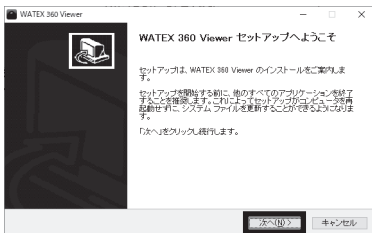


ダブルクリック

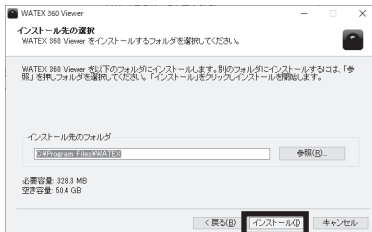


上図のような案内がありましたら、
[はい] をクリックしてください。

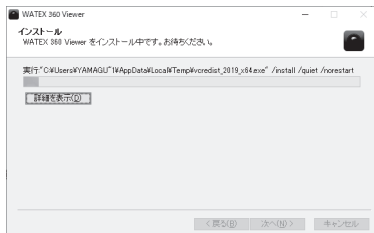
3 セットアップ画面が表示されたら、[Next] ボタンをクリック



4 インストール先フォルダを確認して [インストール] ボタンをクリック



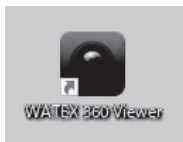
5 インストール画面が表示されインストール開始



6 インストール完了後、[完了] ボタンをクリック



7 ショートカットがパソコンのデスクトップ上に作成される



ビューアーの起動 ファイルの読み込み

1 録画ファイルの入った microSD カードをパソコンにセットする

2 インストールした専用のビューアーソフト [WATEX360Viewer] のアイコンをダブルクリックしてビューアーを起動する

ダブルクリック



専用ビューアーのアイコン



3 パソコンにセットした microSD カードのファイルを開く



(SD カードを展開)
をクリック



SD オープンウィンドウが表示されたら使用するドライブを選択して [確認] をクリック



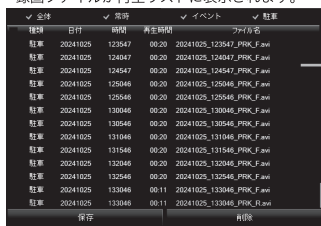
※SD フォーマットをクリックすると録画データが消去されますのでご注意ください。

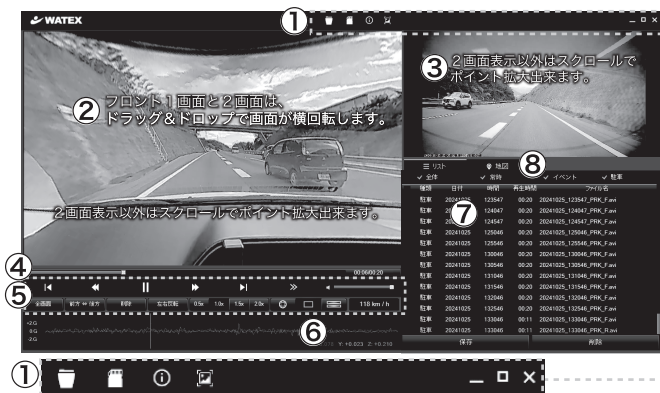
4 再生するファイルを選んでダブルクリックする

録画ファイルの再生が開始されます。

ファイルリストは録画の種類ごとに表示することが可能です。
全体 / 常時 / イベント / 駐車をクリックして選択してください。

録画ファイルが再生リストに表示されます。





- ① フォルダを開く
パソコン上のフォルダを選択して再生リストに読み込みます。
- ② SD カードを展開
SD カードを選択して再生リストに読み込みます。
- ③ 情報を表示
ビューアーのバージョン情報の表示
- ④ 画面キャプチャ (フロント映像は、魚眼表示で保存されます)
ビューアーに表示されている前後映像を画像で保存
- ⑤ ビューアー画面の
最小化ボタン / 最大化ボタン※(Esc) で元に戻る / × 終了ボタン

② フロントカメラ映像 (⇄入れ替え可能) ③ リアカメラ映像 (⇄入れ替え可能)

② フロント1画面と2画面は、ドラッグ&ドロップで画面が360°回転します。

②、③とも2画面表示以外はスクロールで拡大出来ます。

④ シークバー 00:23:01.00
現在の再生位置を表示、変更します。

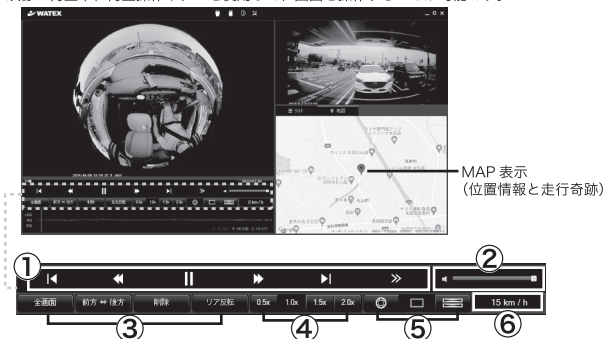
⑤ 再生操作ボタン
再生したファイルの操作を行います。(詳細は次ページで説明)

⑥ G センサー値
3軸加速度センサーで記録した、走行時の揺れや衝撃などをグラフで表示

⑦ 再生リスト
再生ファイル一覧。全体 / 常時 / イベント / 駐車 の録画の種類ごとに表示可能
☑選択したファイルを 保存 削除
別の場所へ保存または、削除できます。(削除するとファイルが無くなってしまいます)

⑧ 地図表示
地図を表示し、GPS で取得した位置情報と走行奇跡を表示

映像の再生中、再生操作ボタンを使用して、画面を操作することが可能です。



- ① **前のファイルを再生** **1秒前に戻る** **一時停止 / 再生** **1秒後に進む** **次のファイルを再生** **コマ送り (1フレーム後の映像表示)**

- ② **音量バー** 左右にドラッグし、再生音量を調整します。

- ③ **再生画面の表示**

全画面	左側で再生している画面の全画面表示
前方 ⇄ 後方	フロントとリアカメラの映像を切り替え
削除	再生中 / 一時停止中の録画ファイルを削除
リア反転	リアカメラ映像の左右を反転

- ④ **0.5x 1.0x 1.5x 2.0x** 再生速度の切り替え

- ⑤ **フロントカメラの再生表示の切り替え**

	魚眼表示
	1画面表示
	2画面表示

- ⑥ **GPS で記録した車両の走行速度を表示**



株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係



0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)